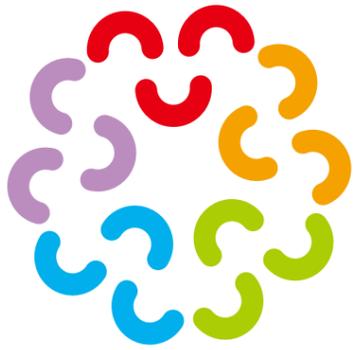


2025国際博覧会 **万博**を 大阪・関西へ



OSAKA-KANSAI/JAPAN
EXPO2025



現在、インバウンドの増加などによる関西経済の好調が期待される中、さらにこの流れを確実なものにするためにも大阪・関西発展の起爆剤になる大きな「仕掛け」が必要です。

世界の人々が集い、ともに考え、行動する国際博覧会（万博）は、まさに大阪・関西の魅力やポテンシャルを世界に発信する絶好の機会となります。

2025国際博覧会開催の誘致実現に向け、府内における“盛り上がり”に皆様のご協力をお願いいたします。

誘致活動のロゴマーク：世界の人々を笑顔にさせるデザイン

万博の大阪誘致に向けた国内機運の醸成を

9月定例府議会代表質問 維新府議団 中司 宏 政調会長

中司 宏

他の立候補国との熾烈な競争に勝ち抜くには国内機運の醸成、特に地元大阪の盛り上がりが必要。年明けのBIE調査団の視察に向け、行政や企業が柔軟な発想で自発的な取組みを進めるべき。

松井知事

開催国決定が1年後に迫る中、誘致機運の醸成には、あらゆる主体が自発的に盛り上げていくことが重要。この間、各方面の積極的な働きかけで誘致委員会の会員数は当初の約150から8万を超えるまで拡大。この2か月で企業数は約1,100から約2,100に、自治体は約100から約140に増加した。更に賛同の輪を広げるため、誘致委員会の中核的な役割を担う府のトップとして、関係機関と連携しながら、あらゆる機会を通じて誘致活動への積極的な参加を働きかける。



中司 宏 政調会長



松井一郎 知事

大阪万博の会場構想案

BIE (博覧会国際事務局) へのビッド・ドシエ (立候補申請書) から

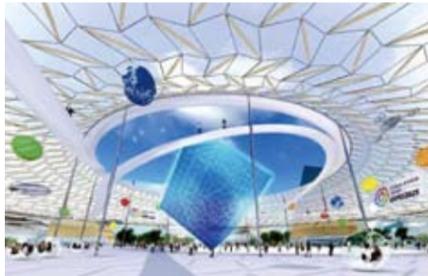
基本テーマ **「いのち輝く未来社会のデザイン」** に沿って
世界の人々が交流しながらつくる未来社会を会場全体で表現します

大阪市の人工島・夢洲内の155ヘクタールを会場とし「空」と呼ばれる屋根付きの大広場を5カ所設置。来場者の交流や、現実の空間の一部に仮想空間を重ね合わせる拡張現実 (AR) などの最新技術を活用したイベントの場にするほか、会場の南には水上エリアを設け、付近にホテルを建設します。



大阪万博会場のイメージ図

会場中心部にパビリオン等、南側水面に水上施設等、西側緑地にアウトドア施設等をそれぞれ整備



「空」と呼ばれる屋根付きの大広場のイメージ図

AR(拡張現実)・MR(複合現実)技術を活用した展示やイベントなどを行い、来場者の交流の場とする



南西側を望む夕景の会場鳥瞰図

淡路島、明石海峡大橋を背景に美しい景観が広がる

2025 大阪万博の開催計画

テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
会場	大阪湾の人工島「夢洲」
期間	2025年5月3日～11月3日 (185日間)
達成目標	参加者：150の国を含む166の参加機関 会場へ来場者：約2800万人 バーチャル来場者：最大80億人

開催地の決定まで想定スケジュール

17年 9月	正式な立候補申請書をBIEに提出
11月	BIE総会でプレゼンテーション (2回目)
18年 1月	BIEが候補地の現地調査 (1週間程度)
6月	BIE総会でプレゼンテーション (最終)
11月	BIEが加盟国(※)の投票で開催地決定

※約170か国

他の立候補の国と開催都市

国名 (都市名)	テーマ
フランス (パリ)	共有すべき知見、守るべき地球
ロシア (エカテリンブルグ)	未来の世代へ、包摂的な技術革新
アゼルバイジャン (バクー)	人間の首都

誘致委員会の会員になって応援しよう! 会費は無料

<http://www.expo2025-osaka-japan.jp/>

EXPO 2025

検索



会員募集

誘致委員会ホームページ

会員募集

会員登録フォーム

から登録